

魅力ある高等教育づくりと活力ある地域づくりに貢献することを目指します。

大学地域コンソーシアム鹿児島Newsletter

編集・発行

大学地域コンソーシアム鹿児島事務局 〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目21-30
TEL 099-285-7315 E-mail : ksomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp
https://www.kagoshima-u.ac.jp/renkei/

創刊号
令和3年3月

■創刊の経緯

大学地域コンソーシアム鹿児島は、平成21年1月6日に鹿児島県内13の高等教育機関（当時）が相互に連携・協力し、高等教育の質的向上を推進することにより、地域の教育及び学術研究の充実・発展を図るとともに、魅力ある高等教育づくりと活力ある地域づくりに貢献することを目的として設立されました。平成23年度からは、文部科学省「戦略的大学連携支援事業」（取組名称：鹿児島はひとつのキャンパス―地域のリーダー養成のための大学連携と総合教育の構築―）の各種事業を引き継ぐ等、着実に活動を展開しております。

さらに、令和2年度からは、文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」（事業名称：食と観光で世界を魅了する「かごしま」の地元定着促進プログラム）の共同事業を継承するとともに、鹿児島県内の国際交流の推進や留学支援を目的とした「鹿児島地域留学生交流推進会議」を本コンソーシアムに集約し、新体制の下、各種機関・団体の皆様と連携・協力して事業を推進しております。

この度、従前のCOC+共同事業の一つであった「かごしまCOC+通信」を引き継ぎ、「大学地域コンソーシアム鹿児島Newsletter」を創刊することとなりました。

今後、このNewsletterを通して、会員の皆様をはじめ、多くの方々に本コンソーシアムの取組について情報を発信して参りますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

■令和2年度からの新体制について

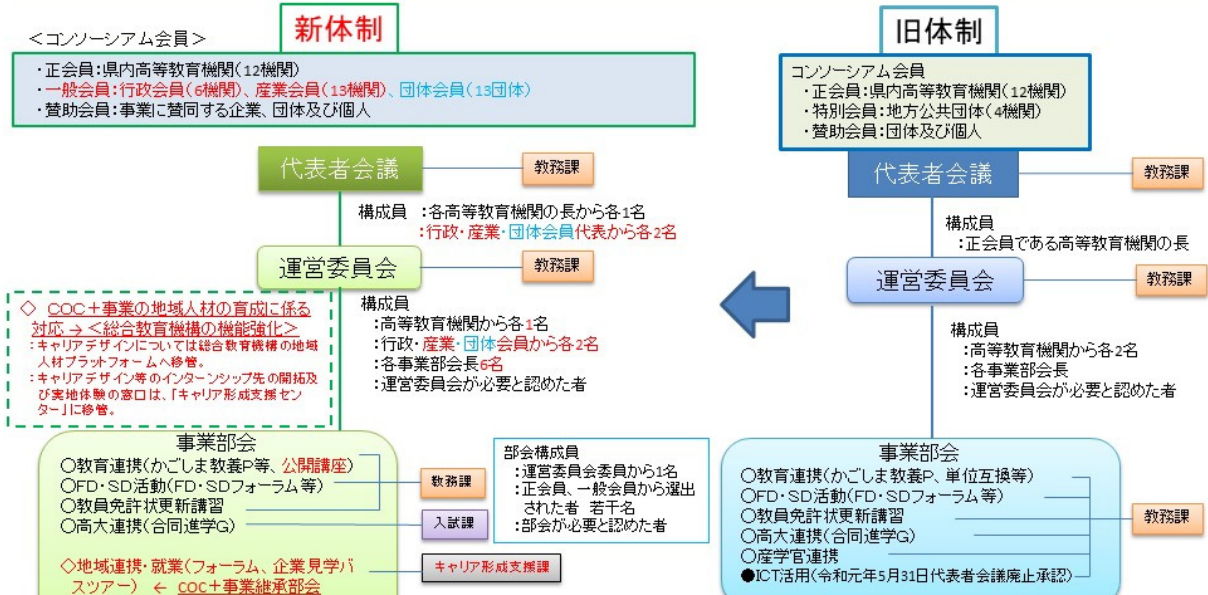
従前のCOC+事業協働機関及び「鹿児島地域留学生交流推進会議」の皆様引き続き本コンソーシアムにご参加いただいたことで、会員は国の機関、地方公共団体、産業関係団体及び各種団体を含む44機関に拡充されました。

また、会員区分、各種会議の委員構成及び事業部会の再編を行い、鹿児島大学に事務局を置いて6事業部会にて活動を行っております。



「大学地域コンソーシアム鹿児島」の新体制 ～令和2年4月以降～

- 【目的】:** コンソーシアムは、鹿児島県内の高等教育機関(以下「県内高等教育機関」という。)が相互に連携・協力し、高等教育の質的向上を推進することにより、地域の教育及び学術研究の充実・発展を図るとともに、**加えて国の機関、地方公共団体、産業関係団体及び各種団体と連携・協力することにより、魅力ある高等教育づくりと活力ある地域づくりに貢献すること**を目的とする。
- 【事業】:** コンソーシアムの目的達成のため、次の事業を行う。
- 県内高等教育機関相互の教育分野における連携・協力に関する事業
 - 県内高等教育機関相互の研究分野における連携・協力に関する事業
 - 県内高等教育機関の教職員・学生の交流に関する事業
 - 県内高等教育機関と地域社会との交流及び連携に関する事業
 - 県内高等教育機関と初等・中等教育機関との連携に関する事業
 - 県内高等教育機関留学学生の地元就業定着に関する事業**
 - 県内高等教育機関の留学生と地域社会との交流等に関する事業**
 - その他コンソーシアムの目的達成に必要な事業



※赤:従前の「COC+」関係事項
※青:従前の「鹿児島地域留学生交流推進会議」関係事項

■新体制発足後、コロナ禍における初の対面による代表者会議を開催

新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑みながら、感染防止対策を徹底した上で、令和2年11月16日（月）に鹿児島大学学習交流プラザにて令和2年4月からの新体制発足後、初の対面による令和2年度第2回代表者会議を開催いたしました（第1回はメール会議にて開催）。構成員は、従前の「正会員」である12の県内高等教育機関の長に加え、新たに「一般会員」である行政会員・産業会員・団体会員の3つの区分から選出された2機関・団体〔行政会員：鹿児島市、鹿児島県。産業会員：（公社）鹿児島県工業倶楽部、鹿児島県商工会議所連合会。団体会員：（公社）鹿児島青年会議所、（公財）鹿児島県国際交流協会〕からもご参加いただきました。



今期（令和元年度～令和2年度）の本コンソーシアム会長である松岡達郎志學館大学



議長として開会挨拶後、新たな「大学地域コンソーシアム鹿児島」について従来との変更点や各事業部会の実施事業に係る進捗状況等について説明が議長を務める松岡会長あった後、最後に新コンソーシアムへの要望等について意見交換が行われました。主に一般会員の皆様から、本コンソーシアムが従前のCOC+事業を継承する組織であることから、地域人材育成や学生のインターンシップによる地元就職率向上の取組等要望が出されました。また、地域貢献の観点から、社会人のリカレント教育についても言及されるなど活発な意見交換となりました。

議長から、この度頂いたご要望等については、今後の既存事業の改善、新規事業の創出等に活かしていくので、益々の御協力を賜りたい旨発言があり、閉会となりました。

■6事業部会の活動について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、一部事業については、当初の予定を変更し、オンラインによる実施や中止したものもありました。

未だ新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない状況ではありますが、令和3年度は感染状況を注視しながら、対面又はオンライン若しくはハイブリッド形式にて可能な限り各種事業を実施していく予定です。

主な活動実績（令和2年度）

●教育連携部会：KRICEキャンパス鹿児島 授業交流（単位互換）コーディネート科目「かごしま教養プログラム」を開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減のため、「かごしま教養プログラム」は、Zoom等による「遠隔授業」形式にて実施しましたが、例年、それに引き続き開講していた「かごしまフィールドスクール」については、宿泊を伴うことなどにより感染拡大防止の観点から中止としました。

なお、「かごしま教養プログラム」では従前の「COC+公開講座」を事業継承し、全体講義の一つとして「食と観光」に関する講義を実施しております。

- ・「かごしま教養プログラム」R2.8.19（水）～8.21（金）夏季集中講義として開講 受講生25名

●FD・SD活動部会：FD・SD合同フォーラムを開催

鹿児島大学FD委員会と共催で、教職員・学生の啓発のための合同フォーラムをWeb（Zoom）により開催しました。

- ①第1回 R2.10.13（火）Web（Zoom）により実施 参加者数105名
（テーマ「新型コロナウイルス感染症流行下における学生・教職員のメンタルヘルス問題」）
- ②第2回 R2.12.10（木）Web（Zoom）により実施 参加者数 87名
（テーマ「全員で考える遠隔授業ーともに新しい学びのスタイルへー」）

●教員免許状更新講習部会：鹿児島県教育庁等関係者を交えての意見交換を実施

R2.11.13（金）に部会を開催し、コロナ禍での課題や対応策など情報共有を図りました。

●高大連携部会：鹿児島県内10大学・短期大学 合同進学ガイダンスを開催

高校生等を対象に令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として、初のオンライン（Zoom使用）による双方向での実施となりました。昨年度までは対面で実施していましたが、アンケートの結果、参加者からは受講した学問分野について概ね理解が深まったとの回答を得ることができました。

- ・「合同進学ガイダンス」R2.12.5（土）開催 参加者数50名

●地域連携・就業部会：COC+共同事業を継承

令和2年度における「地元企業見学バスツアー」は、新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、中止としました。令和3年度はバーチャルでのバスツアーを実施予定としておりますが、感染拡大が収まった場合は、対面型のバスツアーについても検討する予定としております。

また、地元就業の促進を図るため、令和2年度は鹿児島県等が主催する「みらいワーク“かごしま”」を共催で実施しました。

- ・鹿児島で暮らそ！進学・就職応援フェア「みらいワーク“かごしま”」R2.11.1（日）共催 参加者610名

●地域留学生交流推進部会：留学生と地域との交流促進

新型コロナウイルス感染症による影響により、海外からの人的交流などの状況が改善されなかったことから、令和2年度は部会を開催できませんでした。しかしながら、宿舍の確保や就職情報の提供については部会参加機関と連携して情報共有や事業協力を行いました。